

研修名 マネジメント

令和元年5月27日(月) 9:45~12:15

講演 「マネジメントを生かした実践」

演習 「保育施設に変化を起こそう～理想の環境づくり～」

講師 大阪教育大学 小崎 恭弘 氏

1 保育所における目標と設定

1) 保育における目標とは？(何の為にするのか？)

- ①すこやかな子どもの育ちを援助する為
- ②学ぼう、伸びようとする子どもをよりよい方向へ育つよう道筋をつけていく為
 - ・子どもにとって一番良い場所が保育所、子どもにとって一番良い人が保育士でなければいけない

2) 理想の保育所とは？

- ①開放的な玄関、大き過ぎない保育室
- ②家庭的な雰囲気
- ③温かい給食
- ④年齢に見合った玩具 など

3) 保育所をつくろう

- ①考える事で自分の理想が見えてくる
 - ・長野県伊那市は、各園にシンボルツリーを設置している
 - ・年1回の保育指針の見直し(園の保育目標の再認識)
 - ・現在勤めている保育所と異なっていることは何か？

4) 第三者評価における目標・概念

- ①何が大切か(目標・目的・理念)、年に一回は確認する必要がある
 - ・保育所全体の羅針盤になっていく
 - ・保育所全体のルールブックになっていく

5) 保育所における目標とねらい

- ①目標・・・保育理念、方針を具体的な保育のレベルに落としこんだもの
- ②ねらい・・・それらの目標を保育実践の場では「ねらい」とし、子ども達にとって達成が可能である身近な視点によって作られたもの

6) PDCA サイクルを考えよう

- ①目標の達成や事業の進捗状況を Plan(計画・目標) Do(実行・実践) Check(進捗状況の確認) Action(次への改善点・方向づけ) の4つの視点から考える、終わりのない循環モデル
 - ・持続性のある、質の向上を目指すための取り組み
 - ・計画と実践のズレや違いを意識する
- ②ゴールから設定する
 - ・運動会終了後のアンケートで、保護者からどのような感想が欲しいか

7) 保育所における人材育成の視点

- ①職員一人ひとりの育ち、組織としての育ち、未来志向の育ち
- ②保育士養成における実習指導
 - ・保育実習指導(2単位)、保育実習(2単位)、この組み合わせを「実習指導&実習」という
- ③指導していただきたいこと
 - ・学生の特性の理解
 - ・社会人としての学びの機会(良き保育士は良き社会人)

8) 人材を育てることとは

- ①未来を育てること
- ②組織を作ること
- ③文化を伝えること
- ④マネジメントの基本となる
- ⑤保育は「人ありき」人的環境の重要性
- ⑥人は人の中でしか育たない
- ⑦人は育てたように育つ
- ⑧ミドルリーダーの育成と視線が重要

2 感想

今まで漠然としか捉えられていなかった“マネジメント”というものについて、とても明確に理解することが出来た。身近な例えを交えた小崎先生の講演はとても分かりやすく、より実践的な内容だった。特に「もし自分が保育所をつくるとしたら」では、様々な部分に気付き、楽しみながら自分の理想をイメージすることが出来た。また、現在自分の園が抱えている課題も明確になってきたので、職場討議を持ちながら少しずつ変えていけたらと思う。

(記録 精華町立いけたに保育所 富岡智佳)